



# 総合病院 国保 旭中央病院 小児科



- **小児科病床数 44床 (HCU 4床)**  
新生児科 (30床) とはスタッフ、業務においてすべて独立して運営しています。
- **症例数 (平成 19 年度)**
  - ・ 小児科病棟入院患者数 1,900 名  
(60%が救急外来からの入院)
    - 人工呼吸管理 17 例
    - 中心静脈 / 動脈ライン確保 14 例
    - カテコラミン使用 約 6 例
  - ・ 救急外来小児科受診者数 17,690 名  
(全受診者数 約 62,000 名)
  - ・ 一般外来受診者数 約 200 名/日
  - ・ 新生児科入院患者数 約 250 名
- **医師数 17 名**  
(常勤医 10 名、後期研修医 7 名)  
**PALS Instructor 2 名 / Provider 14 名**  
日本小児科学会認定専門医 7 名  
日本救急医学会認定救急科専門医 1 名  
ICLS Instructor 1 名  
インфекションコントロールドクター (ICD) 1 名  
麻酔科標榜医: 1 名

診療圏人口 100 万人の地域 (千葉県北東部と茨城県南東部) 基幹病院の小児科として一次から三次の救急医療、急性疾患の管理、慢性疾患の管理、小児集中治療、乳児健診やワクチン接種などの保健サービス業務、発達障害児の支援、虐待を受けた子どもの支援などの診療活動を展開しています。近年、周辺小児科施設の縮小、閉鎖、さらに小児救急医療のニーズの増大から救急受診者数、入院患者数は増加傾向にあります。

転院症例は入院症例の 2% 未満であり、大部分の症例が初診からフォローアップまで当科で完結しており、特殊な症例は他施設の専門医と連携をとりながら診療しています。したがって様々な症例の急性期から慢性期まで断片だけではなく全体像を学ぶのに適しています。また豊富な症例に加えて、院内勉強会多数、各種学会・セミナーの参加 (交通費・参加費補助あり) を通して知識も確実に得ることができます。小児総合診療を志す方はもちろん、専門科研修を行う前の小児科研修としても最高の環境が整っています。小児集中治療領域にて現在ご活躍中の清水直樹先生、植田育也先生も当院にて小児科研修を行いました。

当院新生児科での研修や、後期研修 3 年目には専門施設でのサブスペシャリティー研修も可能です。学閥がなく様々なバックグラウンドをもつスタッフが集まっており、経歴や専門性を問わず誰でも小児医療を学びたい方、これまでの経験を生かして働きたい方をお待ちしています。

**現在、来年度の後期研修医・スタッフともに募集中です！！**

〒289-2511 千葉県旭市イ-1326 TEL 0479-63-8111

E-mail [asahi\\_kid@hospital.asahi.chiba.jp](mailto:asahi_kid@hospital.asahi.chiba.jp)

<http://www.hospital.asahi.chiba.jp/index.html>